

# 茶病虫害防除情報

【第 14 号】

令和 2 年 8 月 26 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

## 秋芽生育期後半の病虫害防除対策

今年も猛暑の夏となりました。7月下旬の梅雨明け後降雨が少なく、炎天が続き、更に、これから暫くも気温が高い猛暑の天候になりそうです。

茶園の秋芽生育は、更新や三番茶摘採の中止などで様々な状態で、またやや降雨不足気味ですが、順調な生育がみられ、概ね秋芽の生育後半になっています。これから 8 月下旬以降は台風や秋雨前線の影響による雨などでやや不順な天候の気象も予想されます。このため、これまで少なかった秋芽への病害の発生やチャノミドリヒメコバイなど一部害虫の増加なども懸念されます。そこで、秋芽生育期後半の病虫害防除対策についてお報せします。

### 発生および今後発生が懸念される病虫害

#### ◎ 炭疽病 網もち病

炭疽病は秋芽生育前半では晴天が続いたため感染は少なかったと推察されます。後半は台風や秋雨前線の影響で曇雨天日も懸念され、まだ生育中の秋芽がある園では最終の防除が必要です。網もち病は 8 月下旬～9 月上旬頃、降雨や湿潤な天候が続くと生育後半の秋芽に感染します。最近多発傾向で、降雨がなくても夜間の高湿度条件で感染するので、これまで発生の多かった地域や茶園では注意を要し、銅剤による補完防除が必要です。

#### ◎ チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミウマ

晴天・乾燥した天候が続いているため発生密度が高まり、更新園などを主体に一部被害がみられています。今後も生育中の若い秋芽は加害を受けますので、発生状況を見て防除を行いましょう。

#### ◎ コカクモシハマキ チャハマキ チャノホリガ ヨモギエダシヤク

現在のところ発生は平年並みかやや少ない状況ですが、例年この時期から最終世代に多発する傾向があります。発生の多い地域では茶園観察を行い、若齢幼虫期に防除します。

#### ◎ カンザワハダニ マダラカサハラムシ

カンザワハダニは更新園を主体に一時的に増加しています。発生園は早期に全ステージに効果のある速効性の薬剤で防除します。また、マダラカサハラムシの発生も局地的にみられています。生育の遅れている生育初期状態の園などでは被害を受けますので防除が必要です。

#### ◎ クシロカゲラムシ チャツグコソジラムシ

クシロカゲラムシの第 3 世代発生はこれまでの第 2 世代発生の経過から昨年と同程度の、9 月 10～15 日頃(茶業部)がふ化最盛期になるようです。発生は少ないですが、発生園は適期防除が必要です。チャツグコソジラムシの発生は拡大中で、今後さらに発生園の増加が懸念されています。第 3 世代の防除時期は 8 月下旬～9 月上旬になるようで、他害虫と同時防除します。

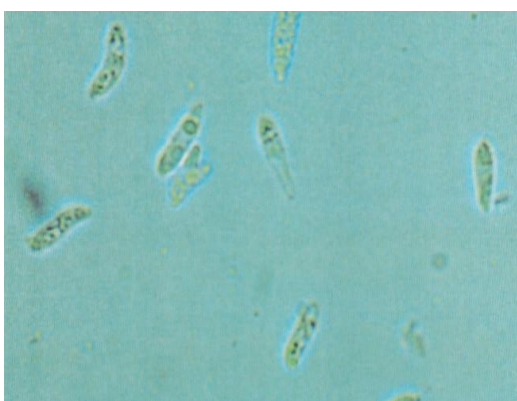
### 秋芽生育期後半の病害虫薬剤防除法

対象病害虫	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用基準
炭疽病 網もち病 新梢枯死症	秋芽生育後期 (3-4葉期)	インダーフロアブル	5000~8000倍	7日前 2回
		オンリーワンフロアブル	2000~3000倍	7日前 2回
		上記2薬剤の何れかと ダコニール 1000 混用散布		10日前 1回
炭疽病 新梢枯死症	秋芽生育中期 (1-2葉期)	ダコニール 1000	700~1000倍	10日前 1回
		フロキサイト SC	2000倍	14日前 1回
網もち病	秋芽生育後期 (4-5葉期)	インダーフロアブル	5000倍	7日前 2回
		オンリーワンフロアブル	2000倍	7日前 2回
		クプロシルト	1000倍	3日前 -
		コサイト 3000	1000倍	14日前 -
		フジトール L フロアブル	500倍	14日前 -
		Zホルト	400~500倍	7日前 -
チャノミドリヒメヨコハシ チャノキイロアザミウマ	秋芽生育後期 (3-4葉期)	ガンバ水和剤	1000~1500倍	14日前 1回
		コテツフロアブル	2000倍	7日前 2回
		エクシレル SE	2000倍	7日前 1回
チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノホソカ ヨモギエダシヤク	若齢幼虫期	ファルコンフロアブル	4000~8000倍	7日前 2回
		ディアナ SC	2500~5000倍	前日 1回
		アフアム乳剤	1000~2000倍	7日前 1回
		エクシレル SE	2000倍	7日前 1回
		アグリメック	1000倍	7日前 1回
		スピノエスフロアブル	2000~4000倍	7日前 2回
		レビークリーン DF	500~1000倍	前日 -
		チューンアップ 顆粒水和剤	2000倍	前日 -
カンザワハダニ	発生初期	ダニサハラフロアブル	1000~2000倍	7日前 2回
		ダニコンクフロアブル	2000~4000倍	7日前 1回
		マイトコーネフロアブル	1000倍	14日前 1回
マダラカサハラハムシ	秋芽生育期	コテツフロアブル	2000倍	7日前 2回
		エクシレル SE	2000倍	7日前 1回
クワシロカイガラムシ	幼虫ふ化最盛期	アプロートエスフロアブル	1000倍	14日前 2回
		スプラサイト 乳剤	1000~1500倍	14日前 1回
チャトゲコナシラミ	若齢幼虫期	ガンバ水和剤	1500倍	14日前 1回
		アプロートエスフロアブル	1000倍	14日前 2回
		ディアナ SC	2500~5000倍	前日 1回

秋芽生育期後半に感染する網もち病（最近発生増加傾向）



網もち病多発生園（葉裏が白色網目状病斑）



網もち病菌 担孢子



冬季に葉枯れ症状となった網もち病

## 網もち病

- 風媒感染（雨より湿度が影響）  
（担子孢子は多湿条件で形成・飛散・感染）
- 新葉（上位3-4葉）に感染
- 感染期間が炭疽病よりやや長く、感染時期は遅い
- 感染時期は秋芽生育の後半（2-5葉期）  
（8月下-9月上）
- 感染から発病までに2ヶ月程度の期間

